

臨床検査に関するお知らせ

株式会社セントラル医学検査研究所／No. 2007-R22

先生各位

平成 19 年 11 月

A-07-06

検査内容変更のお知らせ

謹啓、時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

このたび下記検査項目におきまして、検査内容を変更させて頂きたくご案内致します。

何卒ご了承賜りますよう宜しくお願い申し上げます。

敬白

記

◆ 実施日 平成 19 年 12 月 6 日 (木) お預かり分より

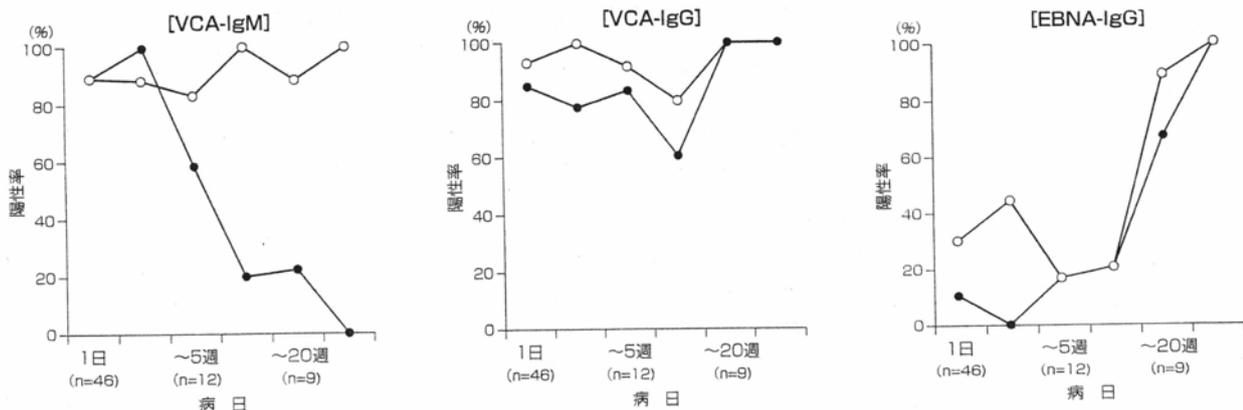
◆ 変更内容

2007年 検査案内	項目コード	検査項目	変更内容	新	旧	備考
p.22	1130	浸透圧 (血清)	保存法	冷蔵	凍結	保存条件の再設定
p.60	1131	浸透圧 (部分尿)				
p.28	3360	ミコトリアー-GOT	単位	U/L	IU/L/37°C	酵素関連項目の単位 統一
	3520	グアナーゼ		U/L	IU/L/37°C	
(未掲載)	11270	抗 ds-DNA-IgM 抗体	基準値	U/ml 6 未満	U/ml 15 以下	診断精度の高い試薬 への変更。 基準値はメーカー設 定値。
p.35	11260	抗 ds-DNA-IgG 抗体		IU/ml 12 以下	IU/ml 10 以下	
(未掲載)	11290	抗 ss-DNA-IgM 抗体		U/ml 17 未満	U/ml 15 以下	
p.35	11280	抗 ss-DNA-IgG 抗体	基準値	AU/ml 25 以下	U/ml 10 以下	
			単位	AU/ml	U/ml	
p.36 p.38 p.39	—	特異的 IgE (シングルアレルゲン)	最小報告値	UA/ml 0.34 以下	UA/ml 0.08 以下	最小報告値を最小検 出感度からキャリブ レーター最小濃度 に変更させていただきます。

→ 裏面へ続く

2007年 検査案内	項目コード	検査項目	変更内容	新	旧	備考
p.47 p.50	17390	EB ウイルス (EBV)	検査方法	EIA	ELISA	国内試薬への変更。 基準値・判定基準は メーカー設定値。 ※下記参考資料をご参照 ください。
	17400		基準値	判定基準		
	17410			判定	抗体指数	
	17420			-	0.5未満	
				±	0.5~0.9	
				+	1.0以上	
p.66	18370	ACTH (副腎皮質刺激ホルモン)	検査方法	ECLIA	RIA 固相法	測定試薬の変更。 (旧試薬との相関) $y = 0.733x - 0.491$ $r = 0.946$ (n=105) ※60pg/ml以下の場合 $y = 0.940x - 2.026$ $r = 0.933$ (n=67)
			基準値	pg/ml 7.2~63.3	pg/ml 7.4~55.7	
			所要日数	3~6日	4~7日	
p.68	18430	副甲状腺ホルモン (PTH)-インタクト	所要日数	3~6日	4~7日	所要日数短縮。
p.71	18920	ヒト心房性ナトリウム 利尿ペプチド (HANP)	検査方法	CLEIA	RIA 固相法	現試薬販売中止に伴う 測定試薬の変更。 (旧試薬との相関) $y = 0.969x - 3.397$ $r = 0.988$ (n=343) 基準値はメーカー設定値。
			基準値	pg/ml 43.0以下	pg/ml 40以下	
			所要日数	3~6日	4~7日	
p.90	40160	脆弱 X 染色体	所要日数	17~20日	21~26日	精度向上の為、日本人 類遺伝学会推奨の培 養方法への変更。 受託可能曜日の変更。 所要日数短縮。
			受託可能 曜日	月、火、金	月、水、木、金	
(未掲載)	42140	TNF- α (腫瘍壊死因子- α)	項目名称	高感度 TNF- α	TNF- α (腫瘍壊死因子- α)	高感度試薬への変更。 (旧試薬との相関) $y = 0.300x + 1.368$ $r = 0.634$ (n=39) ※20pg/ml以下の場合 $y = 0.972x - 2.669$ $r = 0.338$ (n=30)
			参考値	pg/ml 0.6~2.8	pg/ml 5以下	
			材料・検体量	血清 1.0ml	培養上清 0.3ml 血清 0.3ml	

<参考資料：伝染性単核球症病日と抗体陽性率> (●：新試薬、○：旧試薬)



新検査方法参考文献 [脇口 宏, 他: 医学と薬学 58(2): 363~369, 2007.] より